

歩行者に優しい道路整備の推進を

今年の6月に千葉県八街市で下校途中の小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み児童5人が死傷する痛ましい事故が発生した。

この事故を受け、政府は子どもの安全を守るため、万全の対策を講じるべく、通学路における交通安全の確保と飲酒運転の根絶を柱とする緊急対策を取りまとめた。

全国約1万9千の公立小学校の通学路を対象として、見通しの良い道路や抜け道などの点検を9月までに行うことなどを盛り込んだということである。

国が主導となり通学路の安全確保への取り組みが進む中、本町でも更に通学路の安全確保への取り組みを進めるべきと考える。

また、通学路に限らず、町内には安全で円滑な通行が困難な状況となっている歩道が見受けられ、早期の対応が望まれる。

これらを踏まえ、町民が安心して通行できる道路整備を推進する必要があると考えるが、町の見解を伺う。

- 1 通学路の現状と安全確保の取り組みは。
- 2 歩行者が安全で円滑に通行できる道路整備の現状と課題は。
- 3 今後の具体的な整備計画は。